

02 千葉大学のキャンパスライフ 2025

千葉大生がキャンパスで送る日常はどのようなものなのでしょうか。授業や研究、留学体験、課外活動などアクティブに過ごす千葉大生4人の多様なキャンパスライフを紹介します。



06 千葉大学 卒業生インタビュー

テレビやライブだけに限らず、YouTubeなどのSNSにも活躍の場を広げているお笑い芸人の卒業生が登場！お笑いを目指したきっかけやこれから挑戦したいことなどを伺いました。



08 研究紹介 -InfoGraphics- CHIBADAI NEXT より

都市鉱山の貴金属リサイクルの常識を覆す「有機王水」の開発者として活躍し、環境問題に取り組む松野教授の研究を紹介します。—千葉大学 大学院工学研究院 教授—



09 TOPICS / もっと知りたい千葉大学 / CHIBA TOMO ものがたり



web版はこちら

※誌面に記載の所属、職名、学年などは取材時のものです。

[表紙(左から)]

- 近藤 蓮太 (こんどう・れんた) さん  
教育学部 3年
- 森田 和佳奈 (もりた・わかな) さん  
工学部 3年
- 藤丸 桜子 (ふじまる・さくらこ) さん  
園芸学部 3年
- 安田 匠吾 (やすだ・しょうご) さん  
医学薬学府 修士1年



特集で紹介した4人の学生が表紙です。それぞれの学生が、授業や研究など、大学の様々な制度を活用して学びを深めています。課外活動や海外への留学などを通して、リフレッシュしたり友人との関係を深めたりと、学内外での等身大の千葉大生の姿を紹介します。  
(撮影:西千葉・松戸・亥鼻キャンパス)

ちばだい  
プレス CHIBADAI  
PRESS 千葉大学  
広報誌



特集

千葉大学の  
キャンパスライフ 2025

千葉大学 卒業生インタビュー

研究紹介 -InfoGraphics- CHIBADAI NEXT より



千葉県教育拠点である  
千葉大学で英語教育を学びたい

教員免許状が取得でき、かつ英語教育の勉強ができることが私の大学選びの条件でした。千葉大学に決めたのはそれらの条件にかなっていたことに加え、全員留学の制度に魅力を感じたこと、さらに千葉県の教育拠点としての役割を果たしている千葉大学で英語教育を学びたいという思いが強かったからです。

英語教育コースに進学して感じたのは、先生との距離感が近く質問や相談がしやすいことです。授業では、教育に関する基礎的なものは大人数で、専門性の高い内容は少人数で学びます。特に少人数の授業では意見交換も活発で、自身の考えも深まり、教師を志す上で必要不可欠な力を得ることができたと考えています。さらに、外国語学習ではイングリッシュ・ハウスの存在が大きな魅力となっています。様々なサポートがあり、自ら学ぼうとする人を応援してくれます。

教育実習を経て見えてきた夢  
外国語教育の研究者を目指す

3年生の秋、千葉市内の公立小学校で1カ月間の教育実習を行いました。2年生を受け持ち、全教科の授業を担当しました。大変なこともありましたが、「目の前の子どもに何をしたら、その子のためになるのか」と考え実践することは、教師に必要な信念を身につけることにつながりました。

また、小学校での外国語教育が現場での悩みの種になっていることを知り、小学校英語の効果的な指導法を研究したいと思うようになり、研究者として「小学校外国語科の教科書を書く」ことが目標になりました。そのためにも、まずは大学院への進学を目指し、勉強に励みます。そして将来は、学校現場の指導をより良いものにするために研究に取り組みたいと考えています。

小学校外国語科の教科書を書くことが目標になりました

近藤 蓮太 (こんどう・れんた) さん  
教育学部 学校教員養成課程  
英語教育コースA選択 3年

キャンパスライフ  
一問一答

Q. 自習はどこですか？  
A. 図書館。とても集中できます。

Q. 趣味、またはハマっているものは？  
A. サイクリング。千葉駅から九十九里浜まで行ったことがあります！ 疲れた…。

Q. ランチは？  
A. 時間がある時は西千葉エリアの飲食店、ない時は学食です。

一年生最後の授業日、英語教育コースの同期男子で撮った写真です。入学からずっと助け合いながら学んでいます。皆さんにも千葉大学で素敵な出会いがありますように！



特集 千葉大学の

# STUDENTS

キャンパスライフ

アルティメットサークルの大会に出場したメンバー(女子)と、応援に来てくれたメンバー(男子)での集合写真です。皆とプレーするのはとても楽しく、応援はとても励みになります。



大学院に進学し、  
将来は化学系の研究職を目指しています

森田 和佳奈 (もりた・わかな) さん  
工学部 総合工学科 共生応用化学コース 3年

高校で化学の楽しさを知り、  
大学でより幅広く学んでいます

小さい頃から工作が好きで、将来はものづくりに関わる仕事に携わりたいと思っていました。その後、高校の授業で化学の楽しさを知り大学でも学びたいと考え、工学部の中でも化学を学べる共生応用化学コースに進学することにしました。千葉大学に決めた理由は、国立大学で家から通いやすいことやホームページを見て興味のある研究が多かったからです。

高校では化学という一つの教科でしたが、有機化学や無機化学、物理化学、高分子化学、分析化学など様々な分野があり、大学ではそれらを幅広く学んでいます。講義が多いですが、3年生では週に2回実験もあります。これまでの授業で化学についての知識や実験操作が着実に身につきました。新しいことを学び、学んだことを実験で実際に観察することに楽しさを感じ、学部卒業後は千葉大学の大学院に進学し、その後は化学系の研究職に就きたいと考えています。

オンライン留学や課外活動で  
キャンパスライフがより楽しいものに

千葉大学を選んだ理由にもう一つ、全員留学の制度があります。私自身もカナダのレジャイナ大学に2週間、オンライン留学し、英語でのグループワークなど様々な活動を通して他の参加者や先生と交流しました。中でも印象に残っているのは現地の方とzoomで会話したこと。1対1での英会話に最初は戸惑いましたが徐々にスムーズに話せるようになり、楽しく成長を実感できました。

課外活動では、フライングディスクを使ったスポーツを行うアルティメット同好会「MISTRAL」に所属し、大会に向けて週2回グラウンドで練習しています。学年を超えてメンバーの仲が良く、とても居心地の良いサークルです。

キャンパスライフ  
一問一答

Q. お気に入りの場所は？  
A. 陸上競技場の人工芝グラウンド。

Q. ランチは？

A. 自分で作ったお弁当も空き教室で食べるか、空きコマがあれば大学周辺のお店に行くことも。いずれも友達と一緒にです！

Q. アルバイトは？  
A. 塾と飲食店。



**緑豊かな松戸キャンパスで  
“食”や“緑”に関する勉強がしたい**

“食”や“緑”に興味がある私が進学先を千葉大学に決めた理由は、園芸学部がある松戸キャンパスの緑に魅了されたから。とても自然豊かで、ここなら楽しいキャンパスライフを過ごせそうと思い、志望しました。

園芸学科は、私の体感では9割が対面授業で、1割がオンデマンド授業です。毎回小テストがある授業、小レポートがある講義、中間と最終の2回レポートやテストがある講義があります。私は授業中に先生が話している内容をパソコンに書き込んで、授業が終わってからノ

トにまとめています。自分の手で文字に起こすことで頭が整理できるのでこの勉強法が気に入っています。

また、柏の葉キャンパスで行われる農場実習では、<sup>そさい</sup>野菜(野菜)、果樹、花き(花)の3つのグループがあります。説明を受けてすぐ実践に入るので、疑問に思ったことをその場で質問でき理解が深まります。グループのメンバーで役割分担し、作業の順番や道具を工夫するなど、協力して取り組むので楽しく学べます。

**2週間のベトナム留学で  
現地の中・高生に英語で授業**

大学の支援を受けてベトナム留学を

行いました。この留学では、数人のグループで現地の中・高校生に日本文化や理科の授業を英語で行うため、渡航の4カ月前から準備を行いました。ベトナム到着後、授業時間や対象学年が変わったりと大変なこともありましたが、授業ごとに反省会を行い、どんどん上手にできるようになり自信ができました。滞在は2週間でしたが、留学前の準備も含めとても充実した日々を過ごすことができました。

現在は、大学院への進学と教員免許取得を目指しつつ、将来やりたいことを探しています。

**大学院進学を目指しつつ、  
教師も視野に、やりたいことを探しています**

藤丸 桜子 (ふじまる・さくらこ) さん  
園芸学部 園芸学科(栽培・育種学プログラム)3年

**キャンパスライフ  
一問一答**

Q. ランチは?

A. 家に帰って食べるか、研究室の友達と学食。晴れの日は、図書館前のお庭でピクニックすることも!

Q. アルバイトは?

A. パン屋さん、学童、高校のTA(ティーチング・アシスタント)。

Q. 趣味、またはハマっているものは?

A. 旅行です!



ベトナム留学でのワンシーン。現地で行った授業は学生たちがすごくフレンドリーで緊張し過ぎずに楽しめました!一緒に留学した千葉大生とは日本に帰ってきてからも仲良しです!

**病気の予防や治療に果たす  
薬の役割に感心し、薬学を志す**

高校生の時に、病気の予防や治療に、薬が重要な役割を果たしていることに感心し、薬がどのように体内で作用するのかについて興味を持ちました。そして、人体や医薬品について深く学ぶことで、いつか社会に貢献できるのではないかと考えて薬学を志しました。千葉大学を選んだのは、薬学科と薬科学科を入学時に決める必要がなく、薬学部での学びや先輩の経験談をもとに進路を決定できる点や国際交流が盛んな点に魅力を感じたからです。

学部生の時は座学中心でしたが、大学院からは講義はほとんどなく、生活の

大半を研究活動に費やしています。講義形態は基本的にオンデマンド形式で、レポート形式の課題が多いです。

**薬物学研究室で  
光温熱療法の研究に取り組む**

薬物学研究室に所属し、「光温熱療法(※)が誘導する免疫原性細胞死の誘導機構解明」というテーマで学部生の頃から研究を行っています。その成果を学会や論文投稿の形で発表することが、研究のモチベーションになっています。当研究室では、主に免疫チェックポイント阻害剤や脂質ナノ粒子などのニューモダリティについて研究しており、自身の研究にとどまらず様々な研究に手を広げてい

きたいと考えています。

千葉大学は様々な分野で最前線を走っている研究室が多く、研究するには最適な環境です。また、大学の卒業生を招待して行う「社会で活躍する薬学研究者」という講義もあり、千葉大学の卒業生がどのような分野で活躍しているのかを知る機会が設けられ、将来の進路を考えるうえで参考になりました。

修士課程修了後は博士課程に進学する予定です。将来は製薬企業で研究開発に携わり、創薬に貢献することが目標です。

※光温熱療法(PTT)とは?  
腫瘍に集積させた光温熱剤に近赤外光を照射することで発生する熱でがん細胞を殺傷する治療法で、抗腫瘍免疫を活性化させる免疫原性細胞死(ICD)を誘導することから免疫治療との併用療法としても期待されています。

**キャンパスライフ  
一問一答**

Q. 趣味、またはハマっているものは?

A. 写真撮影

Q. お気に入りの場所は?

A. 研究室メンバーが集まって昼食を取ったり雑談したりするお茶室。

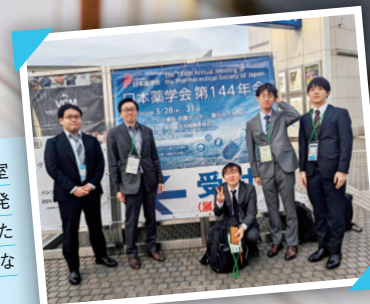
Q. 自習はどこですか?

A. 研究室が家。

**人体や医薬品について学び  
将来は創薬で社会に貢献したい**

安田 匠吾 (やすだ・しょうご) さん  
医学薬学府 総合薬品科学専攻 修士1年  
薬物学研究室

初めて学会に参加した時の研究室メンバーです。自分の研究成果を発表することに最初は緊張しましたが、発表や質疑応答を通じて大きな収穫を得ることができました。





コントやモノマネで幅広く活躍するお笑いコンビ「ラパルフェ」の都留拓也さん。  
 千葉大学公認お笑いサークルでの活動やこれから挑戦したいこと、  
 千葉大生に向けたメッセージなどを語っていただきました。

**中学1年で出会った相手と  
 高校、大学からコンビ活動**

— お笑い芸人を目指したきっかけを教えてください。

**都留** お笑いに興味を持ったのは小学生の頃です。ちょうどテレビで『笑う犬』や『爆笑レッドカーペット』、『笑いの金メダル』といったネタ見せ番組が全盛で、夢中で見ていました。ただ、当時の僕は積極的に人前に出るのが恥ずかしく、面白いことをやっている友だちを見て憧れるタイプでした。自分でもお笑いをやってみたいと思った最初のきっかけは、中学1年になった2007年の『M-1グランプリ』で見たサンドウィッチマンさんの漫才です。自分もこんな風に面白いことをして人を笑わせることができたら…と思うようになりました。実は相手の尾身くんと出会ったのもこの時期。中学3年のときには、クラスでお笑い担当だった尾身くんにちなんで「尾身-1グランプリ」を僕が主催して、初めてネタを書き、尾身くんととのコンビで漫才をやりました。そういう意味では、中学時代がお笑い人生の原点といえるかもしれません。高校に入っても尾身くんと一緒に「ハイスクールマンザイ」に3年続けて挑戦し、3年目に準決勝に残ることができました。お笑いをやるなら相手は彼しかいないと思い、大学に入ってもお笑いを続けようという話をしていました。

— 千葉大学では公認お笑いサークルの「P-RITTS(プリッツ)」で活動されましたね。

**都留** 千葉大学を選んだのは、実家から通いやすかったこともありますが、お笑いサークルがあったことも理由の一つです。当時のP-RITTSの在籍者は30名ほどで現在に比べれば小規模でしたが、学生会館の2階の会議室で毎月ライブをやったり、大学お笑いサークルの大会に出場したりと、勢いがあるサークルでした。尾身くんが早稲田大学に進学し、早稲田のサークル「お笑い工房LUDO」に所属していたので、僕もP-RITTSとLUDOの両方に籍を置きました。入学当初にメインで活動したのはLUDOです。尾身くんとは当時「リレンザ」というコンビ名でLUDOに所属していて、一定の結果が出るまでLUDOでの活動を中心にしてようとしていたからです。幸い、2年のときに挑戦した大学生のお笑いグランプリ「大学芸会2016」で優勝できたので、それ以降はP-RITTSでの活動に注力しました。後輩たちとは今でも定期的に交流がありますが、現在では100名近い大所帯に成長し、卒業生としても嬉しい限りです。

**モノマネで重視しているのは  
 「お笑い」として成立させること**

— テレビやライブだけでなく、YouTubeやTikTokなどのSNSでも、活動の場が広がっていますね。

笑わせたい気持ちが原点。  
 人を元気づけられるのが  
 お笑い芸人としてのやりがい。

お笑い芸人(ラパルフェ)

# 都留拓也さん



**都留** お笑いに興味を持ったきっかけがテレビだったので、活動のメインはテレビでやっていきたいという気持ちが強くあります。ただ、ライブやSNSにも魅力は感じています。ライブで思い出すのは高校の文化祭。コメディ演劇をやったのですが、演じる側も見る側も楽しんでいて素敵な空間だと思った記憶があります。デビューしてから多くのライブを経験してきましたが、笑いが起こるかどうかでネタの評価がすぐにわかるのは醍醐味だと思っています。SNSは若い方との接点になっています。10代の方はTikTokで知っていただくケースが多いですし、インスタグラムでは「嫌なことがあって落ち込んでいましたが動画を見て頑張ろうという気持ちになりました」といったコメントをいただくこともあります。こういう形で人を元気づけ、少しでも誰かの人生に関われるのはお笑い芸人としてのやりがいだと感じています。

— モノマネのレパートリーを増やす秘訣は？

**都留** 実は自分で思いつくというより、人から言われたことがきっかけになるケースが多いんです。阿部寛さんのモノマネも、コントでひげを描いたときに似ていると言われたことがきっかけで、そこから研究を重ねて試行錯誤しながら仕上げていきました。それから、ただ外見を似せるだけでなく、ネタとしてどう落とすかも重視しています。モノマネはデフォルメし過ぎると相手から不快に思われてしまう可能性もありますが、そこはバランスですね。笑いとして成立していればご本人から公認していただけるケースも少なくありません。

**新しいことができる環境なので  
 自分の可能性を広げて  
 いろいろなことに挑戦してほしい**

— これから挑戦したいことはありますか。

**都留** モノマネはこれからも大切にしつつ、やはりネタに力を入れていきたいと考えています。テレビのネタ番組などでしっかりとネタをやりつつ、その中でモノマネを活かせたら理想的ですね。それから、ラパルフェは2人揃ってトークがあまり得意ではないので、トークライブの場数を踏んで活動の幅を広げていきたいと思っています。

— 最後に、学生へのメッセージをお願いします。

**都留** 僕はお笑いにのめり込んだ大学時代を送りました。好きなことを突き詰められたことは良かったと思うのですが、今振り返るともっといろんなことを経験しておけばよかったという思いもあります。千葉大学は幅広い学部を持つ総合大学ですし、サークルもたくさんあるので新しいことを始めやすい環境が整っていると思います。自分の可能性を広げるために、いろいろなことに挑戦してみてください。それから、千葉大祭の実行委員の皆さん、いつか呼んでいただける日をお待ちしています！

**都留拓也**(つる・たくや)

1994年6月3日生まれ。芸人。お笑いコンビ「ラパルフェ」のツッコミ担当。千葉大学文学部行動科学科卒業。千葉大学公認お笑いサークル「P-RITTS(プリッツ)」9期生。千代田区立九段中等教育学校での同級生だった尾身智志とコンビを組み、大学時代から活動。デビュー後はコンビで漫才やコントに取り組みほほか、CX「ザ・細かすぎて伝わらないモノマネ2022」で優勝し、ものまねレパートリーは60種類以上。







千葉大学の研究を発信する「CHIBADAI NEXT」より、研究を「絵」と「簡単なキーワード」で視覚的に表現する「インフォグラフィック」をお届けします！



**研究 / 人生におけるモットー**  
何事も、実行しないで後悔するぐらいなら、実行して失敗した方がまし。

**最近関心を持っているテーマ**  
都市鉱山のリサイクル、特に貴金属・レアメタル。そしてカーボンニュートラル社会構築。

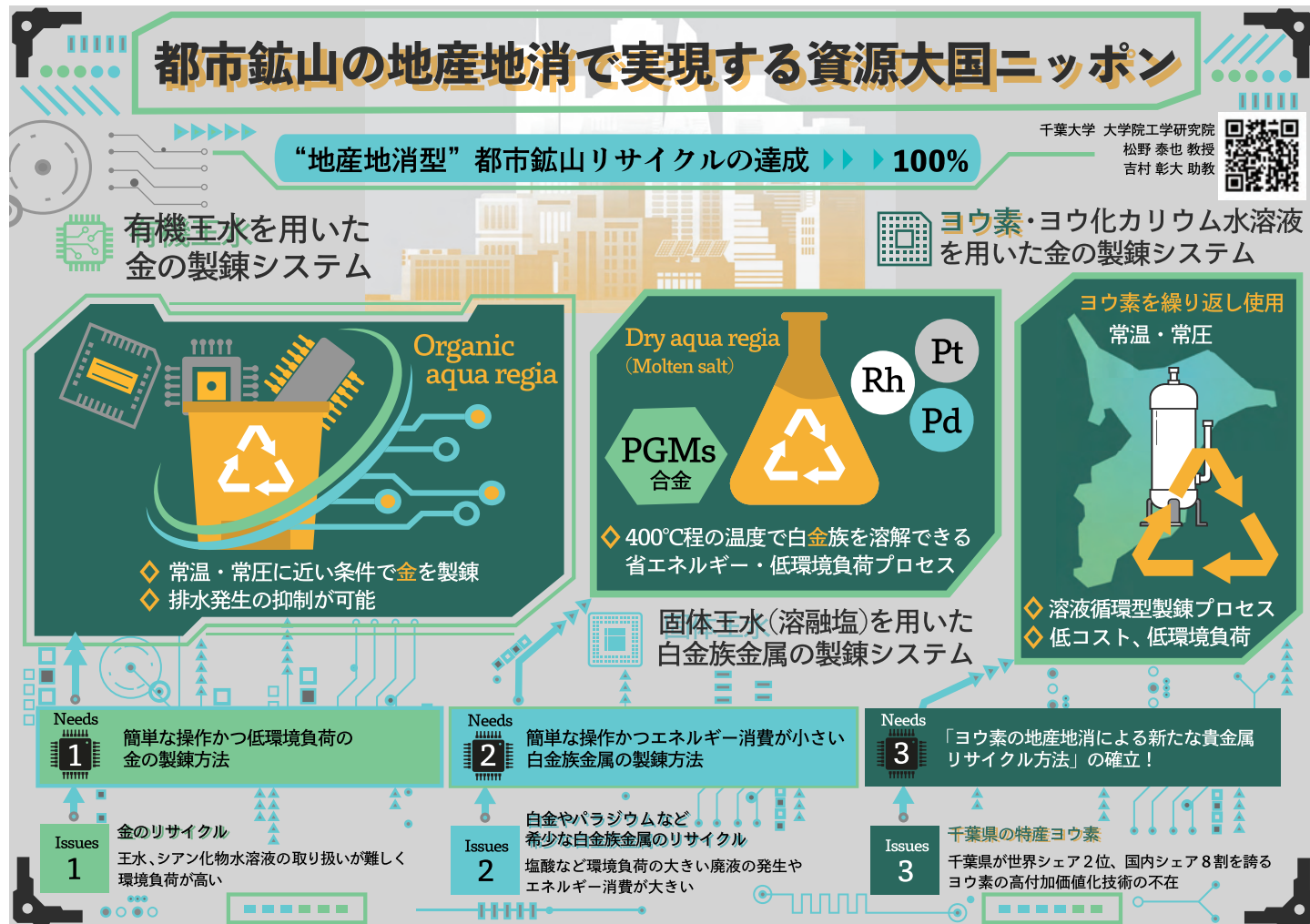
**趣味 / 休日の過ごし方など**  
ゴルフ、麻雀、登山。いずれも健康寿命の延伸のためと、なるべく機会を作るようにしています。

環境に関する専門家として長年研究に取り組んできた松野教授は、「環境問題はブームで片づけてはいけない。一人ひとりが何をできるか考え、取り組む必要がある」と断言する。ライフサイクルアセスメント(LCA)の専門家として、また貴金属リサイクルの常識を覆す「有機王水」の開発者として活躍する松野教授の研究を紹介します。

千葉大学 大学院工学研究院 教授

まつの やすなり  
**松野 泰也**

1996年に学位(工学博士)を取得し、研究者としてのキャリアをスタートさせてから、四半世紀が過ぎました。今の言葉でいえば、持続可能な開発目標(SDGs)達成へ向けた研究活動を続けてきました。様々な産業界との共同研究を実施し、多くのことを学ぶ機会を得ました。



学生へのメッセージ

自分が若手研究者の時に米国の銅鉱山を見に行き、その巨大さに圧倒されながらも、こんなに地球を掘り返して良いの？と素朴な疑問を持ちました。それが都市鉱山に取り組む動機となりました。皆さんも若いうちに様々な体験をしてください。



**CHIBADAI NEXT**

千葉大学の様々な情報について、一般の方にもわかりやすく、身近に感じていただけるような記事を発信しています。



日本語版



英語版

AWARD

古在豊樹 元学長(名誉教授)が文化功労者として顕彰

2024年11月5日、古在豊樹 元学長(名誉教授)が令和6年度文化功労者として顕彰されました。1977年に本学助教授として着任後、生物環境調節、農業環境工学、農業気象学、植物組織培養学分野の発展において多大な貢献をされ、広く社会・文化に与えた影響を評価されたものと考えられます。さらに千葉大学長として教育行政と人材育成、社会活動においてもご尽力され、ご退職後も変わらず研究活動に注力されています。



古在豊樹 元学長

INFORMATION

Sky株式会社とネーミングライツ契約を締結

千葉大学は、Sky株式会社と大学施設のネーミングライツ(施設命名権)取得に関する「ネーミングライツ・パートナー契約書」を締結しました。本契約が本学における初めてのネーミングライツ契約となります。この度のネーミングライツ契約により命名権を付与する施設は、西千葉キャンパスの学生会館1階フードコート1で、本施設の名称は「Sky Food Court 1」となります。1月10日に施設開設の記念式典を開催し、本契約を機にさらに連携を強固していきます。



記念式典でのテープカットの様子

卒業生 MESSAGE

一人ひとりの笑顔が咲く 未来の暮らしを 創造する イオンリテール株式会社 阿左見 崇さん

学生時代の思い出

勉学にアルバイトに、充実した学生生活を送っていました。学科の人数が少なかったこともあって同期の仲間とは強い絆ができ、今でもつながりがあります。妻ともそこで出会い、今では子どもが中学生と高校生になりました。人生は縁の積み重ねだと感じていて、原点が千葉大学にあります。

これまでの仕事について

大学卒業後にイオングループのミニストップ㈱に入社しました。店長や、複数の店舗やエリアを管理するスーパーバイザーを経験後に人事の仕事に就き、様々な異動と経験を経ながら、グループの中核として総合スーパーを運営するイオンリテール㈱で現在も人事の仕事が続いています。イオンは小売以外にも人々の暮らしに根ざした様々な

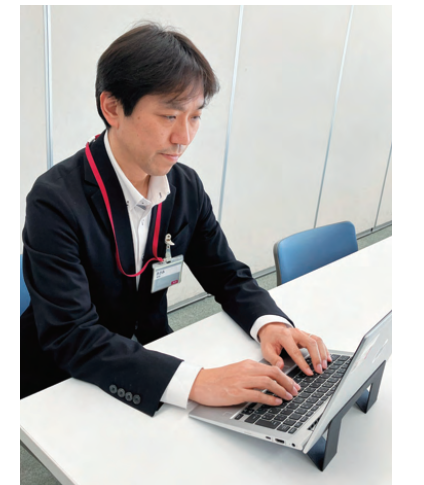


阿左見 崇(あさみ たかし) 人事総務本部 人事部長  
1999年3月 文学部日本文化学科卒業  
1999年4月 入社 イオングループ各社を経て2023年10月より現職

事業を行っており、業種や職種を超えた幅広いフィールドで自分のキャリアを切り拓くことができるのも魅力の一つです。

学生へのメッセージ

イオンリテールは店舗を原点に、最先端のお買い物体験をご提供する小売企業です。最近では、会計時にお客さまをお待たせしない「セルフレジ」や「レジゴー」など、デジタルの活用による新たな挑戦を行っています。千葉県にも多くの店舗があるのでぜひ体験してみてください。また、卒業生が毎年当社に入社し、活躍しています。地域の暮らしを直接変えていくことができる仕事です。学生時代に培った能力や経験を活かしたい方、一緒に働いてみませんか。



執務中の阿左見さん

イオンリテール株式会社



企業HP <https://www.aeonretail.jp/company/>  
採用HP <https://www.aeonretail.jp/saiyo/newgraduate/>

イオンリテール株式会社は、イオングループの中核企業として「イオン」「イオンスタイル」という総合スーパー(GMS)などを展開する企業です。価値ある商品やサービスを提供し、お客さまから選ばれる企業を目指すとともに、店舗でのお買い物の楽しさとデジタルによる利便性の追求によって、新しい小売業に挑戦しています。  
・2008年8月発足(グループ創業1758年)・営業収益1兆8,419億円  
・従業員数117,301人(2025年1月20日時点)





INFORMATION

### 千葉大学DEIB(C-DEIB)推進宣言および千葉大学DEIB(C-DEIB)基本方針を策定!

2024年9月、千葉大学DEIB(C-DEIB)推進宣言および千葉大学DEIB(C-DEIB)基本方針を策定しました。DEIBとは、Diversity, Equity, Inclusion and Belongingの頭文字をとったものです。横手学長がこれまでのDEIBとの接点や想いを語ってくださった、後藤理事との対談の様子は、ダイバーシティ推進部門HP、ちばだいプレステジタルにて公開中!



CHIBA TOMO ものがたり 19時限

いつの間にかまた新学期になったね。だね、今年も頑張ろう!!

今年は何かな? 新入生が来るって聞いたよ。ボクも聞いたよ。カシ? って名前だったかな...

あ、これはDEIBのマフラだよ!!

ところで、マツのマフラが新しいね!!

DEIBは人権が尊重され、みんなに平等の機会が保障される大学をめざすという思いが込められているんだよ。

結局みんな仲良くしようってこと? そうだね。お互いを思いやる気持ちが大切なんだよ。

なんか先生みたいだね...

みんなの新生活を応援するよ!



**ニシ**  
この春は、料理にチャレンジして、みんなにごはんを作ってあげたいな。



**イノ**  
いっぱい散歩して、このまちのお気に入りスポットをたくさん見つけるぞ!



**マツ**  
春のお花をきれいに撮りたくて、カメラをマスター中!



**スミ**  
みんなの新生活を応援するよ!

**CHIBA TOMO**とは...  
千葉大学のキャンパスをかたどったマスコット。うさぎの「ニシ」、かもめの「イノ」、さいの「マツ」、バク「スミ」です。

EVENT

### 工学部創立100周年記念式典を開催

2024年12月7日、千葉大学工学部創立100周年記念式典を開催し、工学部と関係の深い学内外の約200名の方に出席いただきました。記念式典では伊藤学司文部科学省高等教育局長(森次郎 次郎 同局専門教育課企画官代読)から御祝辞をいただき、式典後の記念講演会では、本学工学部の卒業生で、千葉大学特別栄誉教授の藤田誠氏、2023年にイグ・ノーベル賞を受賞された宮下芳明氏(明治大学総合数理学部 教授)の2名にご講演いただき、会場は大いに盛り上がりしました。



西千葉キャンパスけやき会館での式典の様子

AWARD

### 救急サークルが全国医学生BLS選手権大会で準優勝しました

千葉大学医学部救急サークル・C-TATが、2024年9月に実施された一次救命処置の技術・知見を競う「第10回全国医学生BLS選手権大会」で、準優勝に輝きました。過去最多の47大学が参加し、今回は従来行っていた大学対抗戦に、各大学から抽選でメンバーを選ぶ混合チーム戦が加わり、その総合得点を競いました。大会に向けた練習では千葉大学医学部附属病院の救急科・飛世知宏医師と今枝太郎医師が指導にあたりました。



C-TATのメンバーと、指導を行った飛世知宏医師(左端)と今枝太郎医師(右端)

もっと知りたい千葉大学

### 第一高等学校医学部を千葉に誘致した功労者像

県立千葉医学校の長尾精一校長は、1887年、第一高等学校医学部の誘致を名古屋市と争った結果、千葉の地に官立医学校をもたらし(1894年、第一高等学校医学部と改称)。その功労を顕彰するため1911年に作られた胸像は、太平洋戦争時に金属供出され、その後、長年台座のみが残る状態でした。しかし、2024年秋、医学部同窓会のご尽力で、高名な彫刻家・高村光雲作の胸像が再建されました。(大学院国際学術研究院 見城悌治)



亥鼻キャンパスにある長尾氏胸像



### 千葉大学創立75周年記念事業募金にご寄付いただきありがとうございました!

卒業生や地域の企業など、千葉大学を応援してくださる皆様からのご支援をもって、創立75周年記念事業である陸上競技場の整備が完了いたしました。心よりお礼申し上げます。千葉大学は、学生が学業に専念できるよう、これからもサポートしてまいります。



以前は土のグラウンドで走りづらかったり、足を捻りやすかったりしましたが、陸上競技場が新しくなってから良い環境で練習させていただいております。

練習の質が上がり、できる練習の内容が増えました。この度はご支援いただき、ありがとうございました。

(陸上競技部主将 伊東 祐輝さん)



学生からのお礼のメッセージ (動画)



11月2日(土)に創立75周年記念式典を開催いたしました。第1部は、今秋完成した陸上競技場のオープニングイベントが行われました。あいにくの雨により第1体育館での開催でしたが、ゲストにオリンピックの為末氏をお招きし、地域の方々も駆けつけてくださり、賑やかな幕開けとなりました。陸上競技場の完成を記念するテープカットのあとは、為末氏、横手学長、陸上競技部の学生や地域の子どもたちによるパン食い競争が行われ、たくさんの笑顔溢れる第1部となりました。けやき会館で開催された第2部では、第114回日本学士院賞を受賞した、先進科学センター 大栗真宗教授・未来医療教育研究機構 清野宏卓越教授の講演がありました。ご来場くださった皆様、ありがとうございました。



千葉大学創立75周年記念 陸上競技場オープニングイベント

**PayPay**でのご寄付いただけるようになりました!

従来の銀行振込やクレジットカード、インターネットバンキングによる申込方法に加えて、この度PayPayでのご寄付いただけるようになりました。千葉大学基金ホームページからお申込みをお願いいたします。

**税制上の優遇措置**

個人	寄付金が2,000円を超える場合は、確定申告を行うことにより税制上の優遇措置を受けることができます。	法人	全額損金算入が可能です。
----	--	----	--------------

お問い合わせ先 **千葉大学基金室** **メール** kikin@office.chiba-u.jp

**043-290-2014** **ホームページ** https://kikin.chiba-u.ac.jp **千葉大学基金**

ご不明な点がございましたら、遠慮なくお問い合わせください。 **住所** 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33